

リビングコーポレーション、RCマンションの天井高への影響を抑えつつ断熱性能を向上する特許を出願

株式会社リビングコーポレーション（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：鈴木英樹）は、自社開発の高級賃貸デザインマンションにおいて、環境に配慮したより快適な室内空間を実現するために、高さ10m以内で4階建ての建築物に適用される断熱構造に関する特許を出願いたしました。

■特許取得の背景

当社は通常10mの建物高さにおいて、一般的な工法では3階建までとなるところを4階建のマンション建築を実現し、かつ居室内の天井高さを最大限に確保できる独自の「10-4 (TEN-FOUR) CUBE 工法」（特許取得済）を採用しております。当社が開発する新築マンションは壁や窓等の断熱性能を高めており、今年に入って計4棟の新築RCマンションにおいて環境性能が高く評価され、建築環境総合性能評価の「CASBEE A ランク」を取得いたしました。近年、地球環境を改善するための具体的な取り組みが求められておりますが、当社にて技術開発を進めた結果、今般、断熱構造に関する特許出願に至りました。

■特許の概要

発明の名称：断熱構造

概要：

建物高さが10m以内4階建ての建築物に適用される断熱構造であり、これまでの断熱補強構造では床の仕上げ厚さが増し、断熱材の厚さだけ天井高が低くなってしまいう問題がありましたが、本発明により天井高さへの影響を抑制し、断熱性能の向上が可能となります。

外壁及び共有部との間仕切壁の内面から所定範囲のスラブ（床）において、その他の範囲より天端のレベルが低くなるように形成された欠き込みに断熱材を配置する構造とすることで、ヒートブリッジと呼ばれる熱橋現象を抑制し断熱性能を向上させ、天井高さへの影響を抑制します。

■特許取得による影響と今後の展望

当社が開発するRCマンションにおいて、断熱性能をさらに高めることで居室内を快適な室温に保ち、冷暖房にかかるエネルギーを低減し、CO2排出量の削減に貢献してまいります。

DESIGN TO CREATE NEW VALUES（新しい価値をデザインする）を念頭に開発・サービスの提供をしてきた当社は、今後も、より環境に配慮した暮らしやすい建築物の提供ができるよう尽力してまいります。

<マンション quador の特徴>

当社が開発するマンションシリーズ「quador」は、地震や災害に強い壁式鉄筋コンクリート構造を採用したマンションです。室内空間は梁や柱で凸凹していないため家具配置がしや窓の設置位置を天井まで上げることで開放感のある明るい空間を提供しています。また、室内設備や家電製品をインターネットで繋ぎ、通信や連携を行うことで生活の利便性を向上させる IoT 設備を導入し、よりセキュリティと入居者の方の快適性を高めた物件となっております。

【会社概要】

会社名：株式会社リビングコーポレーション

本店所在地：東京都渋谷区渋谷 4-2-12 EDGE 南青山 2F

代表者：鈴木 英樹

設立：2015年8月

URL：<https://www.living-cp.co.jp/>

事業内容：不動産開発業・各種投資業

※株式会社リビングコーポレーションは分譲戸建住宅の国内販売シェア日本一で知られる飯田グループホールディングス株式会社のグループ会社です。

【本リリースに関するお問い合わせ先】

株式会社リビングコーポレーション 経営企画室：永島、中村

TEL：03-6300-0919 / FAX：03-6300-0959

e-mail：tokyo-info@living-cp.co.jp